

科目名	英語Ⅰ	担当教員	藤田 明男 先生		
学年・学期	1年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

本科は日常生活で使う為の英語リーディング・リスニング・ライティング・スピーキングのコミュニケーション活動を通して4つの技能を学ぶ。

授業目標

基本的な英語の仕組みを理解し日常生活の場でゆっくりではあるが少ない単語で会話ができるようにする。

授業計画

1	アルファベット・挨拶
2	I/You+Be動詞の肯定文・否定文・疑問文
3	数詞
4	一般動詞の文と疑問文・否定文
5	命令文・否定の命令文
6	曜日と天気
7	What do you～?の文と答え方
8	名詞の複数形
9	自己紹介 This/That isの文と疑問文
10	How many～?の文と答え方
11	Where～?の文と答え方
12	時刻
13	一般動詞の文とその疑問文と答え方
14	一般動詞の否定文
15	試験
成績評価法	小テスト及び受講態度と筆記試験
使用テキスト	サンシャイン1 開隆堂出版
備 考	

科目名	オリエンテーション	担当教員	学科内部教員
学年・学期	1年・前期	時間数	20
		単位数	1

授業概要

学校生活を有意義に送るために必要となる姿勢、知識や学校の規則、各種手続きについて学ぶ。

授業目標

学生・社会人として基本的なマナーを学び、学校生活を有意義に送るための知識やスキルを身につける。

授業計画

1	ホームルーム 学校生活の心構えについて
2	ホームルーム 学校生活の心構えについて
3	ホームルーム 学校生活の心構えについて
4	ホームルーム 学校生活の心構えについて
5	ホームルーム 学校規則・各種手続きについて
6	ホームルーム 学校規則・各種手続きについて
7	ホームルーム 学校規則・各種手続きについて
8	ホームルーム 学校規則・各種手続きについて
9	ホームルーム 学校規則・各種手続きについて
10	ホームルーム 学校規則・各種手続きについて
成績評価法	出席率・聴講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	経営学	担当教員	雨宮 一彦 先生		
学年・学期	1年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

私たちが社会生活をしていく上で会社（企業）とは密接に関わっています。経営学では、社会における会社経営のありかたや会社の組織、構造および生産、販売、戦略など会社経営のプロセスについて学習します。

授業目標

- (1) 会社とは何かを説明できる。
- (2) 会社の組織形態について説明できる。
- (3) 経営戦略について説明できる。
- (4) 損益分岐点について説明できる。
- (5) 経営管理について説明できる。
- (6) 経営分析について説明できる。

授業計画

1	経営学とはどのような学問なのか
2	会社とは何か
3	会社と組織形態
4	組織と分業
5	経営戦略
6	損益分岐点
7	株式会社とは
8	親会社と子会社 M&Aとは
9	マーケティング
10	経営管理
11	分業と分権
12	科学的管理法
13	リーダーと組織
14	フレームワークとは何か
15	試験
成績評価法	試験の成績、受講の態度、授業への出席率で総合的に評価する。
使用テキスト	随時プリントを配布するので保管しておくこと。
備 考	

科目名	医療・観光概論	担当教員			
学年・学期	1年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

観光は21世紀最大の産業であるといわれ、わが国でも観光立国政策に沿って内外の観光客の獲得競争が始まっている。本科目では、観光活動を産業の立場から概観し、観光が多く個別的な産業に支えられて、最終的には豊かな国民生活に貢献していくことを学ぶ。具体的には、観光活動を主な原因とする経済規模の広がりを、日本と世界のレベルで見てから、医療的見地から見た観光活動を構成する移動・宿泊・レジャーという三大要素と個別的な産業との関わりについて講義し、最後に観光活動の経済的・医療的効果についてまとめる。

授業目標

現代における観光・医療現象を総合的に理解し、基本的・個別的な観光・医療問題について、自分のことばで説明を行うようになること。

授業計画

1	「医療・観光」という概念と現代における意義
2	観光の諸制度
3	観光の効果と影響
4	観光と経済
5	観光と情報
6	観光と環境
7	観光と地域社会
8	観光開発
9	観光行動
10	観光と文化
11	観光と教育・福祉
12	観光と交通・宿泊
13	観光と旅行業
14	観光産業と投資
15	試験
成績評価法	試験結果・出席率・受講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	ビジネス英会話	担当教員	藤田 明男 先生		
学年・学期	1年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

本科目は仕事で使う為のリスニング・スピーキングを中心にビジネス英語の基礎レベルを学ぶ。

授業目標

仕事や日常の場で外国人とのコミュニケーションを取る力を養い基礎的な会話ができるようにする。

授業計画

1	初対面の人との成熟した大人としての接し方
2	たまに会うような人との良行な関係の構築方法 1
3	たまに会うような人との良行な関係の構築方法 2
4	いつも会うような人との互いのリスペクト方法 1
5	いつも会うような人との互いのリスペクト方法 2
6	いつも会うような人との互いのリスペクト方法 3
7	ごく頻繁に接する人との信頼しあえるコミュニケーション方法 1
8	ごく頻繁に接する人との信頼しあえるコミュニケーション方法 2
9	ごく頻繁に接する人との信頼しあえるコミュニケーション方法 3
10	ごく頻繁に接する人との信頼しあえるコミュニケーション方法 4
11	ごく頻繁に接する人との信頼しあえるコミュニケーション方法 5
12	ごく頻繁に接する人との信頼しあえるコミュニケーション方法 6
13	ごく頻繁に接する人との信頼しあえるコミュニケーション方法 7
14	ごく頻繁に接する人との信頼しあえるコミュニケーション方法 8
15	試験
成績評価法	小テスト及び受講態度と筆記試験
使用テキスト	英語ペラペラビジネス100 株式会社アルク スティーブ・ソレイシィ ロビン・ソレイシィ 共著
備 考	

科目名	ビジネスマナー	担当教員	島村 定充 先生		
学年・学期	1年・前期	時間数	30	単位数	I

授業概要

国際化の中で、日本独自のしきたりや習慣を理解し、他者に説明できる知識を持ち、それを多文化意識として学習する。マナーとは何かを考え、職場ごとの多様化するビジネスマナーを身に着け、実践できるようにする。

授業目標

ビジネス・シーンに必要な基本的マナーの学習を通してコミュニケーション力の向上を図るとともに、実社会で即戦力となりうる人材の育成を目指す。社会人に求められる常識、言葉遣いと話し方、接客対応を習得する。

授業計画

1	オリエンテーション、アクティブラッシング
2	効果的な話し方、自己紹介
3	社会人にふさわしい言葉遣い①
4	社会人にふさわしい言葉遣い②
5	ビジネス会話
6	顧客へのアプローチ
7	企業組織と社会①
8	企業組織と社会②
9	現代社会の特徴と課題①
10	現代社会の特徴と課題②
11	市場経済（需要と供給）①
12	市場経済（需要と供給）②
13	対立と合意
14	伝統文化と年中行事
15	試験
成績評価法	受講態度30%、中間試験30%、期末試験40%を目安に総合的に評価
使用テキスト	必要に応じてレジュメを配布する
備 考	受講者の理解度により、講義の順番や重点を変えることがある。

科目名	医療・旅程管理	担当教員		
学年・学期	1年・前期	時間数	30	単位数 1

授業概要

旅程管理者（ツアーコンダクター）の業務について座学と実習により医療・旅程の理解を深める。旅程管理者は旅行商品の最終段階として捉えられ、旅程管理者のみならず消費者（旅行者）にとっても非常に重要である。具体的には国内旅行に関する旅程管理業務の概説、および当該業務の実施に関して必要不可欠な各種サービス提供契約と関係法令等についての概説、さらには実際の添乗実習などを中心に行い、当該業務への医療的見地での理解を深め、円滑にツアーを実施できる能力を養う。

授業目標

旅程管理の準国家資格を取得してもらうことを到達目標とします。

授業計画

1	日本の旅行業界の現状と医療的見地からの将来性
2	旅行業法（概要・総則他）
3	旅行業法（旅行業等）
4	標準旅行業約款（約款とは・総則他）
5	標準旅行業約款（契約・旅程管理・責任他）
6	標準旅行業約款（旅程保証他）
7	関係機関約款（国内旅客運送・一般貸切旅客自動車運送・フェリー標準運送・モデル宿泊）
8	その他の法律（消費者契約法・個人情報保護法・ノーマライゼーション）
9	添乗員の役割と心構え（添乗員とは・添乗員の役割・添乗員の基本的要件）
10	添乗員実務（各種書式等）
11	添乗員実務（日帰りバスツアー・航空機利用ツアー）
12	添乗員実務（JR利用ツアー・宿泊）
13	事故・病気・トラブルなどへの対応
14	関係機関の基礎知識と観光地理
15	試験
成績評価法	試験結果・出席率・受講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	英会話基礎	担当教員	藤田 明男 先生		
学年・学期	1年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

本科は日常生活の場で使う為のリスニング・スピーキング・リーディング・ライティングの4技能を通して初級レベルを学ぶ。

授業目標

日常生活の場で相手の言うことをゆっくりであれば理解し単語数は少なくとも初步的な会話ができるようとする。

授業計画

1	挨拶をする
2	自己紹介をする
3	人を紹介する
4	道案内をする 1
5	道案内をする 2
6	道案内をする 3
7	観光をする 1
8	観光をする 2
9	観光をする 3
10	電話をする 1
11	電話をする 2
12	電話をする 3
13	買物・食事をする 1
14	買物・食事をする 2
15	試験
成績評価法	小テスト及び受講態度と筆記試験
使用テキスト	サンシャイン1・2・3 開隆堂出版
備 考	

科目名	異文化コミュニケーション	担当教員	学科内部教員		
学年・学期	1年・前期	時間数	90	単位数	3

授業概要

日本文化や各種イベントの体験から、異文化理解を深める。

授業目標

日本文化と様々な国の文化の学習を通して、学生間の交流を深め、異文化理解とコミュニケーションを促進する。

授業計画

1	日本文化・行事について学ぶ
2	日本文化・行事について学ぶ
3	日本文化・行事について学ぶ
4	日本文化・行事について学ぶ
5	日本文化に触れる
6	日本文化に触れる
7	日本文化に触れる
8	日本文化に触れる
9	季節の行事に触れる
10	季節の行事に触れる
11	季節の行事に触れる
12	季節の行事に触れる
13	季節の風物詩に触れる
14	季節の風物詩に触れる
15	季節の風物詩に触れる
16	季節の風物詩に触れる
17	日本文化に触れる
18	日本文化に触れる
19	日本文化に触れる
20	日本文化に触れる

21	文化祭準備
22	文化祭準備
23	文化祭準備
24	文化祭準備
25	文化祭準備
26	文化祭準備
27	文化祭準備
28	文化祭準備
29	文化祭
30	文化祭
31	文化祭
32	文化祭
33	日本文化に触れる
34	日本文化に触れる
35	日本文化に触れる
36	日本文化に触れる
37	日本文化に触れる 年末年始の風物詩
38	日本文化に触れる 年末年始の風物詩
39	日本文化に触れる 年末年始の風物詩
40	日本文化に触れる 年末年始の風物詩
41	日本文化に触れる 新春行事
42	日本文化に触れる 新春行事
43	日本文化に触れる 新春行事
44	日本文化に触れる 新春行事
45	日本文化・行事のまとめと発表
成績評価法	出席率・聴講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	医療管理総論	担当教員	町田 一哉 先生		
学年・学期	1年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

電子化された診療録を用いて、医療機関の各種システムと連携について理解する

授業目標

医療機関におけるコンピュータを利用した診療情報処理を理解する
医療機関における診療情報の流れに触れ、レセコン・電子カルテ等のシステムがどのように繋がっているか理解する。

授業計画

1	1: 医療制度と医療関連法規： 主要な医療関係の法律、医療制度に関わる用語1
2	1: 医療制度と医療関連法規： 健康指標と予防医学
3	1: 医療制度と医療関連法規： 地域における保健医療福祉の連携、救急医療と災害時医療
4	2: 病院業務と病院の運営管理： 診療体制と業務、病院部門
5	2: 病院業務と病院の運営管理： 各医療専門職種の権限義務および責任範囲
6	3: 医学・薬学・看護学： 人体の構造と臓器機能とその病態病理、薬学、看護の用語
7	4: 診療行為： 検査、医療画像、処置、手術の用語
8	4: 診療行為： 診療の過程でもちいられる用語1
9	5: 統計分析・臨床データの収集と分析 医学・医療統計・DPC・治験・がん登録
10	6: 医療情報の特性と利用 医療情報の表現形態の種類と特性、一次利用と二次利用
11	7: 医療情報システムの構成 診療所・病院・遠隔医療・地域医療などの各情報システム
12	8: 医療安全 医療情報安全管理、分析手法や防止対策、その用語
13	9: 医療情報の標準化と活用
14	10: 医療の情報倫理 プライバシー保護と個人情報
15	試験
成績評価法	最終試験の結果・出席状況・小テストの結果を合わせて評価
使用テキスト	第4版 医療情報サブノート 篠原出版新社 医療情報の基礎知識改訂第2版 南江堂
備考	

科目名	医学用語演習	担当教員	上杉 洋一 先生		
学年・学期	1年・前期	時間数	60	単位数	2

授業概要

人体に関する解剖学的、生理学的基礎知識を学ぶ

授業目標

臨床医学を学ぶ上で解剖学や生理学の基礎知識を身につける事を目標とする

授業計画

1	解剖学・生理学を学ぶ為の化学の基礎知識(1)
2	解剖学・生理学を学ぶ為の化学の基礎知識(2)
3	解剖学によく出る漢字と概念
4	体に関する基礎医学用語(1)
5	体に関する基礎医学用語(2)
6	体表からみた人体の構造(1)
7	体表からみた人体の構造(2)
8	体表から触知できる骨格部分(1)
9	体表から触知できる骨格部分(2)
10	体表から触知できる大きな筋(1)
11	体表から触知できる大きな筋(2)
12	体表から触知できる動脈と静脈
13	骨格とはどのようなものか?
14	骨の連結
15	骨格筋
16	体幹の骨格と筋(1)
17	体幹の骨格と筋(2)

18	上肢の骨格と筋(1)
19	上肢の骨格と筋(2)
20	下肢の骨格と筋(1)
21	下肢の骨格と筋(2)
22	頭頸部の骨格と筋(1)
23	頭頸部の骨格と筋(2)
24	筋の収縮(1)
25	筋の収縮(2)
26	尿の生成
27	腎臓
28	排尿路
29	体液の調節
30	試験
成績評価法	出席50点、試験50点で評価する
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学（最新版）医学書院
備 考	

科目名	日本語表現法	担当教員	伊藤 美恵子 先生		
学年・学期	1年・後期	時間数	30	単位数	1

授業概要

現代では、無駄な言葉がそぎ落とされ、短い言葉だけで伝えるようになった結果、自分の言葉が痩せていると感じている人が増えている。大和言葉の美しい響きは、気持ちが伝わりやすく、丸みのある表現で相手に優しく伝わるという特徴を理解する。

授業目標

大和言葉とはどのような言葉であるのかを理解し、大和言葉を使って自分の気持ちを表現できる。

授業計画

1	はじめに
2	語らい
3	もてなし
4	手紙
5	言伝
6	装い
7	眺め
8	学び
9	そぞろ歩き
10	あめつち
11	生きもの
12	思い
13	つとめ
14	時
15	試験
成績評価法	授業への参加態度とレポート
使用テキスト	新装版 日本の大和言葉を美しく話す—こころが通じる和の表現—高橋こうじ 東邦出版、[新訂版]話そう考え方 初級日本事情 著者「日本事情プロジェクト」
備 考	

科目名	コミュニケーション論	担当教員	久山 宗彦 先生		
学年・学期	1年・後期	時間数	30	単位数	1

授業概要

この授業で扱う必要なフレーズをひとつひとつ覚えていけば、日本語ができることがどんどん増えて、日本での生活や勉強が一層、充実したものになると確信しています。

授業目標

今回扱う日本語のちょっととした遣り取り(会話)の中にも、日本人の思想や価値観が見受けられるので、留学生諸君のこれまでの体験や生活感覚の中で気づいた具体的な意見や「ちょっと違う」と思う事を、是非、クラスの仲間や私と共に、授業の中で議論してほしい。

授業計画

1	「お出かけですか」「お疲れ様でした」ほか
2	「どちらのご出身ですか」仕事についての話 ほか
3	「ジョギング用のくつはありますか」プレゼント用の包装を頼むほか
4	「この店のおすすめの料理は何ですか」「この料理に豚肉は入っていますか」ほか
5	「南浦和行きの電車は何番線ですか」「京都まで往復でお願いします」ほか
6	「保険証をお持ちですか」「こちらが処方箋です」ほか
7	「駅から近くて、明るい部屋がいいです」ごみの出し方 ほか
8	家族を紹介する、家の中を案内する ほか
9	「電話よりメールの方が連絡しやすい」見た映画の感想を話すほか
10	「ウェブサイトでそちらのアルバイトの求人を見たのですが」面接で仕事の経験について話す ほか
11	「一週間ほど仕事を休ませていただきたいのですが…」電車の事故で遅れる事を連絡する ほか
12	「伝言をお願いできますか」「恐れ入りますが、折り返し、お電話をいただけますか」ほか
13	間違い電話をかけて謝る「ちょっとお電話が遠いようなんですが…」ほか
14	「このニュース、ひどいですね」仕事のぐちを言う ほか
15	試験
成績評価法	筆記試験の結果とプレゼン
使用テキスト	一般財団法人 日本医療教育財団「医療通訳育成カリキュラム基準」(平成29年9月版) 準拠テキスト 医療通訳
備 考	授業では毎回、授業レジュメを配布する。

科目名	薬学概論	担当教員	鈴木 晟幹 先生	
学年・学期	1年・後期	時間数	45	単位数 3

授業概要

薬とは何かを理解し、薬の体内作用の機序も理解する。

授業目標

その薬の作用で、ヒトの健康を維持し、疾病を治療して、人間らしい生活が送れるようになる。

授業計画

1	薬とは何か
2	〃
3	世界の薬の歴史
4	〃
5	日本の薬の歴史
6	〃
7	薬の体内動態
8	〃
9	薬の投与経路
10	〃
11	自律神経作用(交感神経系)
12	〃 (副交感神経系)
13	心臓・血管系に作用する薬物
14	〃
15	感染症に作用する薬物
16	〃
17	抗癌剤の作用
18	〃
19	降圧剤及び血糖値を下げる薬物
20	〃
21	他の薬剤の作用
22	〃
23	試験
成績評価法	紙面と授業態度
使用テキスト	「くすりの基本」中尾 隆明 著(秀和システム)
備考	参考書「薬学概論」村田 敏郎 著(南山堂) 「薬がみえる」Vol.1 野元 正弘ら監修

科目名	マーケティング	担当教員	城田 恵次郎 先生		
学年・学期	1年・後期	時間数	30	単位数	1

授業概要

「4P」といわれるプロダクト、プライス、プレイス、プロモーションを中心としたマーケティング・ミックスの考え方や、ビジネスの環境変化に対応した新しいマーケティングの方法を学ぶ。また、生産と消費を結ぶ流通がどのような機能と役割を担っているのかを、小売業中心に学ぶ。

授業目標

消費者として企業のマーケティング活動の内容を知り、普段の生活と企業の関わりについて身近な問題として捉える力を習得する。

授業計画

1	マーケティングとは何か
2	企業活動とマーケティング
3	Product (製品)
4	Place (流通チャネル)
5	Promotion(販売促進)
6	Price (価格)
7	セグメンテーションとターゲティング
8	ポジショニング
9	製品ライフサイクル
10	市場地位別のマーケティング戦略 (リーダー・チャレンジャー)
11	市場地位別のマーケティング戦略 (フォロワー・ニッチャー)
12	業界の構造分析
13	全社戦略
14	事業とドメインの定義・戦略的思考に向かって
15	試験
成績評価法	試験・出席率・受講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	医療・観光ビジネス論	担当教員			
学年・学期	1年・後期	時間数	30	単位数	1

授業概要

観光事業は、観光政策のように国や地方公共団体などが公的目的で実施するマクロ的なものと、個々の企業や団体が営利目的または非営利の目的で行うミクロ的なものに分けられる。本科目では、企業や団体の営む観光ビジネスの全体像について概観する。具体的には、観光ビジネスの基本である移動と宿泊、観光地での諸活動、それらの仲介サービスにおいて、それらの企業や団体がいかなるビジネスモデルで事業展開しているかについて、豊富な事例研究を交えながら理解を深める。

授業目標

観光ビジネスの歴史、市場の変化を踏まえ、実際の企業・団体の活動を分析することを通じてビジネスモデルの特徴を理解するとともに、経済社会において観光事業が果たす役割について説明できるようになること。

授業計画

1	旅行業の歴史と市場情勢・最新トピック
2	旅行業のしくみと産業連関
3	旅行業のビジネスモデル① JTBグループとKNT-CTホールディングス
4	旅行業のビジネスモデル② HISとニッコウトラベル
5	旅行業のビジネスモデル③ 道祖神とアルパインツアーサービス
6	旅行業のビジネスモデル④ 楽天トラベルとエクスペディア
7	運輸業のビジネスモデルとマーケティング① JR九州と日本郵船
8	運輸業のビジネスモデルとマーケティング② エミレーツ航空とLCC
9	宿泊業のビジネスモデル① 星野リゾートとベルーナ
10	宿泊業のビジネスモデル② アバグループとスーパーホテル
11	観光施設のビジネスモデル OLCとハウステンボス
12	シェアエコノミーと観光ビジネス 民泊とウーバーの経済学
13	旅行商品・ツアーの企画開発
14	地域事業としての観光ビジネス 下関コンベン協・九州オルレ・小値賀島
15	試験
成績評価法	試験結果・出席率・受講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	通訳理論と技術	担当教員	増田 博道 先生		
学年・学期	1年・後期	時間数	60	単位数	2

授業概要

通訳における知識力ならびに記憶力のあり方

授業目標

技術面において実在するとあるのちがいを理解してもらう

授業計画

1	通訳理論
2	通訳の定義
3	医療通訳者の役割
4	対話通訳と相互作用
5	コミュニティ通訳と医療通訳
6	コミュニケーションにおける通訳者の責任
7	通訳者がコミュニケーションに与える影響
8	日本における医療通訳の歴史
9	ノートテイキングの理論と技術
10	通訳訓練法やノートテイク
11	逐次通訳演習
12	事前準備や情報収集の重要性
13	情報収集方法
14	情報収集と用語集の作成
15	通訳実技
16	医療通訳業務の流れと対応
17	通訳者の立ち位置とその影響

18	場面別模擬通訳演習
19	場面別模擬通訳演習
20	場面別模擬通訳演習
21	場面別模擬通訳演習
22	場面別模擬通訳演習
23	場面別模擬通訳演習
24	場面別模擬通訳演習
25	場面別模擬通訳演習
26	場面別模擬通訳演習
27	場面別模擬通訳演習
28	場面別模擬通訳演習
29	場面別模擬通訳演習
30	試験
成績評価法	試験
使用テキスト	一般財団法人 日本医療教育財団「医療通訳育成カリキュラム基準」 (平成29年9月版) 準拠テキスト 医療通訳・その他
備 考	

科目名	医療関係法規概論	担当教員	小林 憲人 先生		
学年・学期	1年・後期	時間数	30	単位数	1

授業概要

一般法規、医療関係法規及び公的医療保険制度の解説と問題演習。

授業目標

一般法規、医療関係法規及び公的医療保険制度の基礎知識を身につける。

授業計画

1	法の概念 法律一般
2	法の概念 法律一般
3	医療法総論 保険医療提供体制
4	医療法総論 保険医療提供体制
5	医療法各論 医療情報の提供
6	医療法各論 医療情報の提供
7	医療法各論 医療法の改正
8	医療法各論 医療法の改正
9	医療従事者に関する法規
10	医療従事者に関する法規
11	衛生法規
12	衛生法規
13	公的医療保険制度
14	公的医療保険制度
15	試験
成績評価法	定期試験の結果、授業態度、出席による総合評価
使用テキスト	講義当日に、適宜、レジュメを配布する。
備 考	

科目名	ホスピタリティ I	担当教員	学科内部教員		
学年・学期	1年・後期	時間数	15	単位数	1

授業概要

日本文化の「おもてなし」の心を理解する。

授業目標

文化祭と課外研修を通して、日本文化のひとつである「おもてなし」について理解を高める。

授業計画

1	文化祭でのホスピタリティ
2	文化祭でのホスピタリティ
3	文化祭でのホスピタリティ
4	文化祭でのホスピタリティ
5	課外研修 テーマパークでのホスピタリティ
6	課外研修 テーマパークでのホスピタリティ
7	課外研修 テーマパークでのホスピタリティ
8	課外研修 テーマパークでのホスピタリティ
成績評価法	出席率・聴講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	総合中国語	担当教員	李 建美 先生		
学年・学期	1年・前期	時間数	60	単位数	2

授業概要

初めて中国語を学習する学生を対象として、中国語の仕組を全体的に把握する。ピンインの習得を重視しつつ、簡単な語彙や文法を身につけることを目指す。中国語でコミュニケーションをとる。発音の基本、人称代名詞、指示代名詞、動詞、助動詞・兼語式文、副詞、形容詞など。問題練習を通して学習事項の定着を図るとともに、視聴覚資料を使って、中国や中国文化に関する理解を深める。

授業目標

ピンインの仕組みを習得し、ピンインを使って漢字を読める、基本語彙と文法を身につけ、中国語での挨拶や自己紹介、物の尋ね方と答え、食事、電話、買い物など簡単な基本表現ができる。

授業計画

1	中国語とは・ピンインの仕組み
2	ピンイン1・ピンインの仕組み・発音
3	ピンイン2・子音・正しく発音できる方法を学習
4	ピンイン2・子音・母音・発音
5	ピンイン3・子音・母音・四声の発音
6	ピンイン3・子音・母音・四声の発音
7	ピンイン4・複母音の発音
8	ピンイン4・子音と母音の組み合わせの発音
9	ピンイン5・声調の付け方
10	ピンイン5・子音・母音・声調の付け方
11	ピンインの全体復習
12	ピンインのテスト実施・結果説明
13	ピンインの特別な発音ルール
14	日常挨拶言葉
15	自己紹介
16	人称代名詞・動詞
17	数字の学習 買い物 “一” の変調 “二” の変音

18	“有” & “要” 喫茶店
19	時間・時刻 デート
20	方位名詞 「有」VS「在」
21	曜日／日付 残業
22	動詞+“一下儿” 形容詞+“不”+形容詞
23	好きな食べ物 レストランの注文
24	程度副詞：“太…了” 喜欢+動詞
25	レストランの予約 出前を頼む 電話用語
26	選択疑問詞 A“还是” B
27	身体の部位 病気
28	…了 “没有”+動詞
29	全体復習
30	試験
成績評価法	試験、出席、授業態度
使用テキスト	「私の中国語教室」「Why?にこたえる初めての中国語の文法書」
備 考	「基礎漢語 40 LESSON」

科目名	中国語会話	担当教員	李 建美 先生		
学年・学期	1年・前期	時間数	15	単位数	1

授業概要

基本的な単語や会話を学習し、聞く話す能力重視、日常会話基本表現を身に着けることを目的とする。

授業目標

中国語で自己紹介、簡単な日常会話表現できるようになること。

授業計画

1	自己紹介
2	いろいろな挨拶
3	買い物 量詞
4	約束 方位名詞
5	数字 時間時刻 曜日日付
6	仕事 残業 形容詞
7	レストラン 電話予約
8	試験
成績評価法	試験、出席、授業態度
使用テキスト	「すぐに使える中国語会話」
備 考	

科目名	英語 I	担当教員	伊藤 美恵子 先生		
学年・学期	1年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

説明や例文を参考にして自分で簡単な文を作り、正しく伝えられる力を身につける

授業目標

基本となる文法を踏まえた上で単語力を高め、読解する力、伝える力を養う

授業計画

1	文法 英単語ターゲット1200 リスニング等の流れと説明、自己紹介
2	英会話フレーズ800 接頭辞・接尾辞 今日の一言
3	文法 英単語ターゲット1200 リスニングのルール
4	英会話フレーズ800 接頭辞・接尾辞 今日の一言
5	文法 英単語ターゲット1200 リスニングのルール
6	英会話フレーズ800 今日の一言 接頭辞・接尾辞
7	文法 英単語ターゲット1200 リスニングのルール
8	英会話フレーズ800 今日の一言 接頭辞・接尾辞
9	文法 英単語ターゲット1200 リスニングのルール
10	英会話フレーズ800 今日の一言 接頭辞・接尾辞
11	文法 英単語ターゲット1200 リスニングのルール
12	英会話フレーズ800 今日の一言 接頭辞・接尾辞
13	文法 英単語ターゲット1200 リスニングのルール
14	英会話フレーズ800 今日の一言 接頭辞・接尾辞
15	試験
成績評価法	出席、平常点(授業中のプリント学習等) テスト
使用テキスト	英語リスニング9つのルール 英単語ターゲット1200他
備 考	

科目名	経営学	担当教員	雨宮 一彦 先生		
学年・学期	1年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

私たちが社会生活をしていく上で会社（企業）とは密接に関わっています。経営学では、社会における会社経営のありかたや会社の組織、構造および生産、販売、戦略など会社経営のプロセスについて学習します。

授業目標

(1) 会社とは何かを説明できる。 (2) 会社の組織形態について説明できる。
 (3) 経営戦略について説明できる。 (4) 損益分岐点について説明できる。
 (5) 経営管理について説明できる。 (6) 経営分析について説明できる。

授業計画

1	経営学とはどのような学問なのか
2	会社とは何か
3	会社と組織形態
4	組織と分業
5	経営戦略
6	損益分岐点
7	株式会社とは
8	親会社と子会社 M&Aとは
9	マーケティング
10	経営管理
11	分業と分権
12	科学的管理法
13	リーダーと組織
14	フレームワークとは何か
15	試験
成績評価法	試験の成績、受講の態度、授業への出席率で総合的に評価する。
使用テキスト	随時プリントを配布するので保管しておくこと。
備 考	

科目名	ビジネス英会話	担当教員	伊藤 美恵子 先生		
学年・学期	1年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

ビジネスの場面では相手に失礼のない丁寧な言い回しが求められる。
それを踏まえた適切な発信力を身につける。

授業目標

相手に何かを伝える時の温度感を大切にして、自分の気持ちをプラスした表現力を養う。

授業計画

1	文法 英単語ターゲット1200 リスニングのルール
2	英会話フレーズ800 今日の一言 接頭辞・接尾辞
3	文法 英単語ターゲット1200 リスニングのルール
4	英会話フレーズ800 今日の一言 接頭辞・接尾辞
5	文法 英単語ターゲット1200 リスニングのルール
6	英会話フレーズ800 今日の一言 接頭辞・接尾辞
7	文法 英単語ターゲット1200 リスニングのルール
8	英会話フレーズ800 今日の一言 接頭辞・接尾辞
9	文法 英単語ターゲット1200 リスニングのルール
10	英会話フレーズ800 今日の一言 接頭辞・接尾辞
11	文法 英単語ターゲット1200 リスニングのルール
12	英会話フレーズ800 今日の一言 接頭辞・接尾辞
13	文法 英単語ターゲット1200 リスニングのルール
14	英会話フレーズ800 今日の一言 接頭辞・接尾辞
15	試験
成績評価法	出席、平常点(授業中のプリント学習等) テスト
使用テキスト	イメージで覚える接頭辞・接尾辞(ベネッセ) フルスタステップ(文法)他
備 考	

科目名	ビジネスマナー	担当教員	島村定充		
学年・学期	1年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

国際化の中で、日本独自のしきたりや習慣を理解し、他者に説明できる知識を持ち、それを多文化意識として学習する。マナーとは何かを考え、職場ごとの多様化するビジネスマナーを身に着け、実践できるようにする。

授業目標

ビジネス・シーンに必要な基本的マナーの学習を通してコミュニケーション力の向上を図るとともに、実社会で即戦力となりうる人材の育成を目指す。社会人に求められる常識、言葉遣いと話し方、接客対応を習得する。

授業計画

1	オリエンテーション、アクティブラッシング
2	効果的な話し方、自己紹介
3	社会人にふさわしい言葉遣い①
4	社会人にふさわしい言葉遣い②
5	ビジネス会話
6	顧客へのアプローチ
7	企業組織と社会①
8	企業組織と社会②
9	現代社会の特徴と課題①
10	現代社会の特徴と課題②
11	市場経済（需要と供給）①
12	市場経済（需要と供給）②
13	対立と合意
14	伝統文化と年中行事
15	試験
成績評価法	受講態度30%、中間試験30%、期末試験40%をもとに総合的に評価
使用テキスト	必要に応じてレジュメを配布する
備 考	受講者の理解度により、講義の順番や重点を変えることがある。

科目名	英会話基礎	担当教員	伊藤 美恵子 先生		
学年・学期	1年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

母音、子音を正しく習得する。音変化の法則を理解する。日常会話を学ぶ。

授業目標

短い会話ができるようにする。(聞き取り、発信ができることを目指す。)

授業計画

1	文法 英単語ターゲット1200 シャドーイング
2	英会話フレーズ800 今日の一言 語い力増強動詞50
3	文法 英単語ターゲット1200 シャドーイング
4	英会話フレーズ800 今日の一言 語い力増強動詞50
5	文法 英単語ターゲット1200 シャドーイング
6	英会話フレーズ800 今日の一言 語い力増強動詞50
7	文法 英単語ターゲット1200 シャドーイング
8	英会話フレーズ800 今日の一言 語い力増強動詞50
9	文法 英単語ターゲット1200 シャドーイング
10	英会話フレーズ800 今日の一言 語い力増強動詞50
11	文法 英単語ターゲット1200 シャドーイング
12	英会話フレーズ800 今日の一言 語い力増強動詞50
13	文法 英単語ターゲット1200 シャドーイング
14	英会話フレーズ800 今日の一言 語い力増強動詞50
15	試験
成績評価法	出席、平常点(授業中のプリント学習等) テスト
使用テキスト	基本の78パターンで英会話フレーズ800 語い力増強!動詞50(ベネッセ)他
備 考	

科目名	医療管理総論	担当教員	町田 一哉 先生		
学年・学期	1年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

電子化された診療録を用いて、医療機関の各種システムと連携について理解する

授業目標

医療機関におけるコンピュータを利用した診療情報処理を理解する
医療機関における診療情報の流れに触れ、レセコン・電子カルテ等のシステムがどのように繋がっているか理解する。

授業計画

1	1: 医療制度と医療関連法規： 主要な医療関係の法律、医療制度に関わる用語1
2	1: 医療制度と医療関連法規： 健康指標と予防医学
3	1: 医療制度と医療関連法規： 地域における保健医療福祉の連携、救急医療と災害時医療
4	2: 病院業務と病院の運営管理： 診療体制と業務、病院部門
5	2: 病院業務と病院の運営管理： 各医療専門職種の権限義務および責任範囲
6	3: 医学・薬学・看護学： 人体の構造と臓器機能とその病態病理、薬学、看護の用語
7	4: 診療行為： 検査、医療画像、処置、手術の用語
8	4: 診療行為： 診療の過程でもちいられる用語1
9	5: 統計分析・臨床データの収集と分析 医学・医療統計・DPC・治験・がん登録
10	6: 医療情報の特性と利用 医療情報の表現形態の種類と特性、一次利用と二次利用
11	7: 医療情報システムの構成 診療所・病院・遠隔医療・地域医療などの各情報システム
12	8: 医療安全 医療情報安全管理、分析手法や防止対策、その用語
13	9: 医療情報の標準化と活用
14	10: 医療の情報倫理 プライバシー保護と個人情報
15	試験
成績評価法	最終試験の結果・出席状況・小テストの結果を合わせて評価
使用テキスト	第4版 医療情報サブノート 篠原出版新社 医療情報の基礎知識改訂第2版 南江堂
備考	

科目名	医学用語演習	担当教員	上杉 洋一 先生		
学年・学期	1年・前期	時間数	60	単位数	2

授業概要

人体に関する解剖学的、生理学的基础知識を学ぶ

授業目標

臨床医学を学ぶ上で解剖学や生理学の基礎知識を身につける事を目標とする

授業計画

1	解剖学・生理学を学ぶ為の化学の基礎知識(1)
2	解剖学・生理学を学ぶ為の化学の基礎知識(2)
3	解剖学によく出る漢字と概念
4	体に関する基礎医学用語(1)
5	体に関する基礎医学用語(2)
6	体表からみた人体の構造(1)
7	体表からみた人体の構造(2)
8	体表から触知できる骨格部分(1)
9	体表から触知できる骨格部分(2)
10	体表から触知できる大きな筋(1)
11	体表から触知できる大きな筋(2)
12	体表から触知できる動脈と静脈
13	骨格とはどのようなものか?
14	骨の連結
15	骨格筋
16	体幹の骨格と筋(1)
17	体幹の骨格と筋(2)

18	上肢の骨格と筋 (1)
19	上肢の骨格と筋 (2)
20	下肢の骨格と筋 (1)
21	下肢の骨格と筋 (2)
22	頭頸部の骨格と筋 (1)
23	頭頸部の骨格と筋 (2)
24	筋の収縮 (1)
25	筋の収縮 (2)
26	尿の生成
27	腎臓
28	排尿路
29	体液の調節
30	試験
成績評価法	出席50点、試験50点で評価する
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学（最新版）医学書院
備 考	

科目名	日本語表現法	担当教員	伊藤 美恵子 先生		
学年・学期	1年・後期	時間数	30	単位数	1

授業概要

現代では、無駄な言葉がそぎ落とされ、短い言葉だけで伝えるようになった結果、自分の言葉が痩せていると感じている人が増えている。大和言葉の美しい響きは、気持ちが伝わりやすく、丸みのある表現で相手に優しく伝わるという特徴を理解する。

授業目標

大和言葉とはどのような言葉であるのかを理解し、大和言葉を使って自分の気持ちを表現できる。

授業計画

1	はじめに
2	語らい
3	もてなし
4	手紙
5	言伝
6	装い
7	眺め
8	学び
9	そぞろ歩き
10	あめつち
11	生きもの
12	思い
13	つとめ
14	時
15	試験
成績評価法	授業への参加態度とレポート
使用テキスト	新装版 日本の大和言葉を美しく話す—こころが通じる和の表現—高橋こうじ 東邦出版、[新訂版]話そう考え方 初級日本事情 著者「日本事情プロジェクト」
備 考	

科目名	コミュニケーション論	担当教員	久山 宗彦 先生		
学年・学期	1年・後期	時間数	30	単位数	1

授業概要

この授業で扱う必要なフレーズをひとつひとつ覚えていけば、日本語ができることがどんどん増えて、日本での生活や勉強が一層、充実したものになると確信しています。

授業目標

今回扱う日本語のちょっとした遣り取り(会話)の中にも、日本人の思想や価値観が見受けられるので、留学生諸君のこれまでの体験や生活感覚の中で気づいた具体的な意見や「ちょっと違う」と思う事を、是非、クラスの仲間や私と共に、授業の中で議論してほしい。

授業計画

1	「お出かけですか」「お疲れ様でした」ほか
2	「どちらのご出身ですか」仕事についての話 ほか
3	「ショギング用のくつはありますか」プレゼント用の包装を頼むほか
4	「この店のおすすめの料理は何ですか」「この料理に豚肉は入っていますか」ほか
5	「南浦和行きの電車は何番線ですか」「京都まで往復でお願いします」ほか
6	「保険証をお持ちですか」「こちらが処方箋です」ほか
7	「駅から近くて、明るい部屋がいいです」ごみの出し方 ほか
8	家族を紹介する、家の中を案内する ほか
9	「電話よりメールの方が連絡しやすい」見た映画の感想を話すほか
10	「ウェブサイトでそちらのアルバイトの求人を見たのですが」面接で仕事の経験について話す ほか
11	「一週間ほど仕事を休ませていただきたいのですが…」電車の事故で遅れる事を連絡する ほか
12	「伝言をお願いできますか」「恐れ入りますが、折り返し、お電話をいただけますか」ほか
13	間違い電話をかけて謝る 「ちょっとお電話が遠いようなんですが…」ほか
14	「このニュース、ひどいですね」仕事のぐちを言う ほか
15	試験
成績評価法	筆記試験の結果とプレゼン
使用テキスト	一般財団法人 日本医療教育財団「医療通訳育成カリキュラム基準」(平成29年9月版) 準拠テキスト 医療通訳
備 考	授業では毎回、授業レジュメを配布する。

科目名	薬学概論	担当教員	鈴木 晟幹 先生	
学年・学期	1年・後期	時間数	45	単位数 3

授業概要

薬とは何かを理解し、薬の体内作用の機序も理解する。

授業目標

その薬の作用で、ヒトの健康を維持し、疾病を治療して、人間らしい生活が送れるようになる。

授業計画

1	薬とは何か
2	〃
3	世界の薬の歴史
4	〃
5	日本の薬の歴史
6	〃
7	薬の体内動態
8	〃
9	薬の投与経路
10	〃
11	自律神経作用(交感神経系)
12	〃 (副交感神経系)
13	心臓・血管系に作用する薬物
14	〃
15	感染症に作用する薬物
16	〃
17	抗癌剤の作用
18	〃
19	降圧剤及び血糖値を下げる薬物
20	〃
21	他の薬剤の作用
22	〃
23	試験
成績評価法	紙面と授業態度
使用テキスト	「くすりの基本」中尾 隆明 著(秀和システム)
備考	参考書「薬学概論」村田 敏郎 著(南山堂) 「薬がみえる」Vol. 1 野元 正弘ら監修

科目名	マーケティング	担当教員	城田 恵次郎 先生		
学年・学期	1年・後期	時間数	30	単位数	1

授業概要

「4P」といわれるプロダクト、プライス、プレイス、プロモーションを中心としたマーケティング・ミックスの考え方や、ビジネスの環境変化に対応した新しいマーケティングの方法を学ぶ。また、生産と消費を結ぶ流通がどのような機能と役割を担っているのかを、小売業中心に学ぶ。

授業目標

消費者として企業のマーケティング活動の内容を知り、普段の生活と企業の関わりについて身近な問題として捉える力を習得する。

授業計画

1	マーケティングとは何か
2	企業活動とマーケティング
3	Product (製品)
4	Place (流通チャネル)
5	Promotion (販売促進)
6	Price (価格)
7	セグメンテーションとターゲティング
8	ポジショニング
9	製品ライフサイクル
10	市場地位別のマーケティング戦略 (リーダー・チャレンジャー)
11	市場地位別のマーケティング戦略 (フォロワー・ニッチャー)
12	業界の構造分析
13	全社戦略
14	事業とドメインの定義・戦略的思考に向かって
15	試験
成績評価法	試験・出席率・受講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	医療・観光ビジネス論	担当教員			
学年・学期	1年・後期	時間数	30	単位数	1

授業概要

観光事業は、観光政策のように国や地方公共団体などが公的目的で実施するマクロ的なものと、個々の企業や団体が営利目的または非営利の目的で行うミクロ的なものに分けられる。本科目では、企業や団体の営む観光ビジネスの全体像について概観する。具体的には、観光ビジネスの基本である移動と宿泊、観光地での諸活動、それらの仲介サービスにおいて、それらの企業や団体がいかなるビジネスモデルで事業展開しているかについて、豊富な事例研究を交えながら理解を深める。

授業目標

観光ビジネスの歴史、市場の変化を踏まえ、実際の企業・団体の活動を分析することを通じてビジネスモデルの特徴を理解するとともに、経済社会において観光事業が果たす役割について説明できるようになること。

授業計画

1	旅行業の歴史と市場情勢・最新トピック
2	旅行業のしくみと産業連関
3	旅行業のビジネスモデル① JTBグループとKNT-CTホールディングス
4	旅行業のビジネスモデル② HISとニッコウトラベル
5	旅行業のビジネスモデル③ 道祖神とアルパインツアーサービス
6	旅行業のビジネスモデル④ 楽天トラベルとエクスペディア
7	運輸業のビジネスモデルとマーケティング① JR九州と日本郵船
8	運輸業のビジネスモデルとマーケティング② エミレーツ航空とLCC
9	宿泊業のビジネスモデル① 星野リゾートとベルーナ
10	宿泊業のビジネスモデル② アバグループとスーパーホテル
11	観光施設のビジネスモデル OLCとハウステンボス
12	シェアエコノミーと観光ビジネス 民泊とウーバーの経済学
13	旅行商品・ツアーの企画開発
14	地域事業としての観光ビジネス 下関コンベン協・九州オルレ・小値賀島
15	試験
成績評価法	試験結果・出席率・受講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	英語Ⅱ	担当教員	
学年・学期	2年・前期	時間数	30 単位数 1

授業概要

本科は日常生活の場で使う為の英語のリスニング・スピーキング・リーディング・ライティングのコミュニケーション活動を通してより深く4技能を学ぶ。

授業目標

基本的な英語の仕組みをさらに理解し日常生活の場でゆっくりでも会話ができるようにする。

授業計画

1	規則・不規則動詞・過去形の疑問文
2	過去進行形の文と否定文
3	未来形Willの文
4	助動詞mustとhaveの文
5	接続詞thatの文
6	These is/areの文と否定文
7	不定詞(to+動詞の原形)
8	接続詞when/ifの文
9	動名詞(動詞のing形)
10	look+形容詞/because+形容詞
11	比較級の文
12	最上級の文
13	受け身を表す文
14	過去形・未来形・接続詞・不定詞・動名詞
15	試験
成績評価法	小テスト及び受講態度と筆記試験
使用テキスト	サンシャイン2(開隆堂出版)
備考	

科目名	職業指導	担当教員	学科内部教員		
学年・学期	2年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

自己理解・仕事理解を通して自らの意志で目標を設定し、目標に向けての取り組みを具体的に検討し、自分自身の適正・能力を充分に伸ばす。

授業目標

自己理解・職業理解から社会参加の意義を有し、働くことの喜び・意義を理解し自己責任の下に自らの人生を決定する力を養う。
具体的な就職活動を実践できる。自己のキャリアプランが作成できる。

授業計画

1	就職内定後の心得：社会人としての心構え
2	就職内定後の心得：社会人としての心構え
3	就職内定後の心得：社会人としての心構え
4	就職内定後の心得：社会人としての心構え
5	面接力：自己PRの作成
6	面接力：自己PRの作成
7	面接力：個別面接
8	一般常識問題
9	一般常識問題
10	一般常識問題
11	作文の書き方
12	電話応対：会社訪問
13	仕事理解：社会情勢・労働市場・労働関係法規・雇用制度
14	仕事理解：社会情勢・労働市場・労働関係法規・雇用制度
15	仕事理解：社会情勢・労働市場・労働関係法規・雇用制度
成績評価法	出席率 聴講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	現代社会	担当教員			
学年・学期	2年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

現代の日本及び世界がどのような構造になっているかについて、経済・政治の視点を主としながら理解する。また、日本社会が抱える諸問題についても考える。現代の社会を生きるために不可欠な基礎知識を身につけ、社会の動向に絶えず関心を持ち続け、社会生活において的確な選択や判断ができるようとする。

授業目標

取り上げるテーマは、いずれも社会人として常識と考えられる事項である。そこで、就職活動における面接でそれらについて問われた際に、概略と自身の考えを述べられるようにすることを目標とする。

授業計画

1	三権分立／憲法改正と国際間の安全保障
2	国民主権と選挙制度／一票の格差とは
3	議院内閣制・地方自治制度等／原発政策の難しさ
4	社会保障と労働問題①
5	社会保障と労働問題②
6	社会保障と労働問題③
7	人口問題と環境問題①
8	人口問題と環境問題②
9	人口問題と環境問題③
10	豊かさとは、何か①（世界経済の概況について）
11	豊かさとは、何か②（経済発展の功罪）
12	日本は、豊かか①（アベノミクスの首尾）
13	日本は、豊かか②（日本の社会保障制度）
14	金儲けは、善か悪か（資本主義のイデオロギー）
15	試験
成績評価法	試験結果・出席率・受講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	情報処理	担当教員	
学年・学期	2年・前期	時間数	15 単位数 1

授業概要

現代のコミュニケーションツールとして重要な位置を占めるパソコンを用いて、文書作成やデータ処理など情報伝達・発信方法の基礎を学ぶ。

授業目標

コンピュータ操作の初学者が操作を習得し、Word・Excel・PowerPointの一般的な操作が出来ることを目標とする。

授業計画

1	コンピュータの基本知識と情報セキュリティ・画面の操作
2	word: 立ち上げと基本操作・文書の作成と印刷
3	word: 表の作成・文書の編集
4	powerpoint: プレゼンテーションの操作と作成
5	powerpoint: 効果的なプレゼンテーションの作成
6	excel: 基本操作と簡単な表作成・ブックの保存
7	excel: 表作成(罫線・塗りつぶし・関数・書式設定・印刷)
8	試験
成績評価法	試験結果・出席率・受講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	数理リテラシー	担当教員	
学年・学期	2年・前期	時間数	30 単位数 1

授業概要

職業生活においては、様々な数字に囲まれて仕事をすることになる。本科目では、筋道を立て、客観的に物事を考えることができることを目的とし、ビジネスだけでなく、日常生活のあらゆる場面で役立つ計算力やデータ、表やグラフなどを読み取る力を身につける。キャリア形成に必要不可欠な数学的、論理的な考え方を効果的に学ぶ。

授業目標

数学の基礎・基本を身につけ、数式・表・グラフ等の活用を通して数学的処理の“良さ”を知ることにより、日常生活の各場面において役立てることができるようになる。

授業計画

1	分数や小数の計算・四則計算
2	割合・比の計算
3	速さ①～速さ・時間・距離、旅人算（相対速度の利用）
4	速さ②～流水算・通過算
5	集合（ベン図の利用）
6	割合と百分率①～仕事算
7	割合と百分率②～損益算
8	割合と百分率③～濃度算
9	連立方程式とつるかめ算、1次関数
10	統計（ちらばりと代表値・平均）
11	平面図形（角度・面積）
12	平面図形（表面積・体積）
13	場合の数と順列・組み合わせ
14	確率の考え方と基本演算
15	試験
成績評価法	試験結果・出席率・受講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	臨床医学総論	担当教員	
学年・学期	2年・前期	時間数	30 単位数 1

授業概要

疾病の原因、成り立ちや疾病の特徴について解説する。
医療に携わるスタッフとして基本的な知識として健康、疾病の特徴が理解出来るように講義を行う。

授業目標

1. 健康と疾病の違いについて簡単に説明できる。
2. 疾病の原因、症状、治療について基本的な特徴が説明できる。

授業計画

1	健康と疾病
2	疾病の原因
3	疾病による組織・細胞の変化
4	病気の診断
5	検査所見Ⅰ
6	検査所見Ⅱ
7	治療の方針
8	先天性疾患Ⅰ
9	先天性疾患Ⅱ
10	先天性疾患Ⅲ
11	軟部組織の損傷
12	各部の損傷
13	薬物による中毒
14	薬物以外による中毒
15	試験
成績評価法	筆記試験
使用テキスト	
備考	

科目名	患者論	担当教員			
学年・学期	2年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

看護の本質を良く理解し、医療と患者との立場を明確にして、患者の立場から医療を垣間見る。

授業目標

看護が疾患をもつ患者に対してどのように接するかを重要事項を踏まえて勉学する。

授業計画

1	看護について要説Ⅰ
2	看護について要説Ⅱ
3	看護と患者の基礎知識Ⅰ
4	看護と患者の基礎知識Ⅱ
5	看護と患者の基礎知識Ⅲ
6	ヒルデガード・E・ペプロウの理論
7	"
8	病院と患者（院内感染対策・スタンダードプリコーション）Ⅰ
9	病院と患者（院内感染対策・スタンダードプリコーション）Ⅱ
10	"（再生医療）Ⅰ
11	"（再生医療）Ⅱ
12	医療と（事故・過誤）トリアージⅠ
13	医療と（事故・過誤）トリアージⅡ
14	医療と（事故・過誤）トリアージⅢ
15	試験
成績評価法	紙面と授業態度
使用テキスト	一般財団法人 日本医療教育財団「医療通訳育成カリキュラム基準」 (平成29年9月版) 準拠テキスト 医療通訳・その他講師が必要とするもの
備 考	

科目名	人体構造・機能論	担当教員	
学年・学期	2年・前期	時間数	30 単位数 1

授業概要

医療に携わるスタッフとして必要な人体の構造とその機能について解説する。医療用語として使用される専門的な用語が理解でき、他の医療スタッフと連携が出来るように講義を行う。

授業目標

1. 細胞・組織の名称と機能が説明できる。
2. 人体の各部の名称・構造とその機能が説明できる。

授業計画

1	人体の構造 概論（組織と器官）
2	人体の構造 概論（組織と器官）
3	細胞の構造、細胞内小器官・働き
4	細胞の構造、細胞内小器官・働き
5	呼吸器の構造・循環器の構造
6	呼吸器の構造・循環器の構造
7	消化器の構造・泌尿器の構造
8	消化器の構造・泌尿器の構造
9	内分泌の構造と機能
10	内分泌の構造と機能
11	内分泌の機能
12	内分泌の機能
13	骨と筋肉（特に上肢と下肢）
14	骨と筋肉（特に上肢と下肢）
15	試験
成績評価法	試験
使用テキスト	一般財団法人「日本医療教育財団」「医療通訳育成カリキュラム基準」（平成29年9月版） 準拠テキスト 医療通訳・その他講師が必要とするもの
備 考	

科目名	病院・観光ビジネス実務総論	担当教員	
学年・学期	2年・前期	時間数	30 単位数 1

授業概要

本科目は、病院・観光産業に含まれる幅広い観光ビジネス分野の実務について概説を行う。具体的には旅行関連、宿泊関連、運送関連、サービス関連、まちづくり関連、レジャー関連、飲食・土産物関連、教育文化関連などの病院・観光ビジネスの現状分析を行うとともに、それらの観光ビジネスについて展望を行う。講義の過程で適宜、MICE、TDRとUSJ、訪日外国人観光客、第三次ホテル戦争、LCC、ゆるキャラ等のトピックを取り上げ、病院・観光ビジネスとの関連を論じる。

授業目標

広範囲にわたる病院・観光ビジネスの領域のそれぞれについて基本的な実務的知識を理解し、分かりやすく説明できるようになること。

授業計画

1	ガイダンス：観光業の多様性、観光概論と観光ビジネス論との関係
2	旅行関連ビジネスの実務知識(1)： 旅行業、MICE、インバウンドビジネス、産業観光、グリーンツーリズム
3	旅行関連ビジネスの実務知識(2)： 文化観光、医療観光、スポーツ観光、コンテンツツーリズム
4	宿泊関連ビジネスの実務知識
5	輸送関係ビジネスの実務知識(1)：航空ビジネス
6	輸送関係ビジネスの実務知識(2)：鉄道、バス、船舶、レンタカー
7	サービス関連ビジネスの実務知識
8	地域振興関連ビジネスの実務知識
9	レジャー関連ビジネスの実務知識
10	飲食・土産物関連ビジネスの実務知識
11	教育・文化関連ビジネスの実務知識
12	観光マネジメント・マーケティングのビジネスの実務知識
13	観光商品の開発・販売・営業の実務知識
14	観光とホスピタリティ・サービス
15	試験
成績評価法	試験結果・出席率・受講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	情報機器演習	担当教員			
学年・学期	2年・前期	時間数	15	単位数	1

授業概要

OS（基本ソフト）の基本的な操作ができ、Word（文書作成能力）、Excel（情報加工技術）、PowerPoint（情報の視覚的表現）の一般的な操作を習得する。

授業目標

基本的なコンピュータ操作を習得し、社会人としてコンピュータを業務で使用できることを目標とする。

授業計画

1	検定の特徴と出題範囲について Word : Word検定の特徴と模擬問題の解答方法
2	Word : 3級第1・2・3回模擬試験問題の実施・解説・確認
3	Word : 3級第4・5・6回模擬試験問題の実施・解説・確認
4	Excel : 3級第1・2・3回模擬試験問題の実施・解説・確認
5	Excel : 3級第4・5・6回模擬試験問題の実施・解説・確認
6	Word・Excel : 3級模擬試験問題の実施・解説・確認
7	まとめ
8	試験
成績評価法	試験結果・出席率・受講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	国際関係法規概論	担当教員	
学年・学期	2年・前期	時間数	15 単位数 1

授業概要

国際法及び国際関係に関する基礎知識について学ぶ。

授業目標

グローバル化が進む国際社会に対応できるよう日本や諸外国における国際関係及び法に関する理解を深める。

授業計画

1	国際関係と法～国際公法
2	国際関係と組織～国際組織法
3	国際関係と人権、平和に関する法
4	国際関係と取引～国際私法
5	国際関係と家族～国際家族法
6	国際関係と環境～国際環境法
7	国際関係と政治・経済～EU法、英米法、国際経済法
8	試験
成績評価法	試験結果・出席率
使用テキスト	一般財団法人 日本医療教育財団「医療通訳育成カリキュラム基準」 (平成29年9月版) 準拠テキスト 医療通訳・その他講師が必要とするもの
備 考	

科目名	医療・観光文化	担当教員			
学年・学期	2年・後期	時間数	30	単位数	1

授業概要

本科目は、医療・観光理解の基礎的部分である観光活動についての史的的理解を深める。具体的には、日欧の観光活動の歴史、及びそれらが生み出した医療的見地から観光文化について概観する。

授業目標

現代のマス・ツーリズムにおいてポピュラーな観光形態として存在している海水浴、温泉、避暑、避寒、登山、ワインタースポーツ、文化観光、都市観光、田園観光などの起源と発展について、それらの誕生当時の社会状況を含めて、医療的見地から自分の言葉で説明出来ること。

授業計画

1	医療・観光の定義、医療・観光史・観光文化についてのガイダンス
2	近代観光誕生への助走（1）： 15世紀末の特殊性、ガイドブックの誕生
3	近代観光誕生への助走（2）： 古代ローマの優位、風景と旅の危険、17世紀の宮廷の理想
4	階級戦略から始まる近代観光（1）：イギリス社会と観光の創造
5	階級戦略から始まる近代観光（2）：グランドツアーハウス
6	18世紀のフンティ工観光： 温泉療養、海水浴治療、気候療法、山岳とスイスの発見、田園滞在
7	19世紀のフンティ工観光： 移動手段、ガイドブック、リゾートの進化
8	19世紀から20世紀へ（1）：シーズンとリゾートの確立
9	19世紀から20世紀へ（2）：ランティ工観光の進化
10	マス・ツーリズムの萌芽：トマス・クック
11	マス・ツーリズムの台頭：大戦間の変化、余暇の政治利用と社会運動、青少年のバカンスからソーシャル・ツーリズムへ
12	夏の地中海：観光モデルの交替
13	日本の医療・観光史と観光文化（1）：総合的な旅文化
14	日本の医療・観光史と観光文化（2）：信仰と温泉・景勝と文化
15	試験
成績評価法	試験結果・出席率・受講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	多読と多聴	担当教員			
学年・学期	2年・後期	時間数	30	単位数	1

授業概要

英語でのアウトプット＝「話す」「書く」ためには、十分な量のインプットが必要である。本科目では、英語を「読む」「聞く」ことに特化して行う。本科目で使用する教材は全てわかりやすいレベルのものである。無理をせずに「読む」「聞く」という活動を継続的に続けることで、英語の基礎力また断続的な学習姿勢を養い、英語学習の基盤を作る科目である。

授業目標

簡単な英語の本の多読により、英文の構造に慣れ、英語を英語のまま理解する。多聴により、英語の音声的特徴に慣れ、聴解力の向上に努める。自律的に継続的に学習する習慣を身につけることができる。

授業計画

1	多読とはなにか？その方法と効果について 多聴とはなにか？その方法と効果について／自律した学習者とは
2	多聴の練習①リピート練習
3	多読：本を選ぶポイント 多聴の練習②聞き読みの練習
4	多読学習の継続 Xreadingシステムの利用方法について システムを利用する。
5	多聴の練習③シンクロ・リーディング 多読の報告：1ヶ月を経過しての感想、今後の計画
6	多聴の練習④TOEIC教材のシンクロ・リーディング 多読の継続：記録の役割
7	多聴の練習⑤プロティを意識した練習（1/2） 多読の継続：ビブリオバトルの説明
8	多聴の練習⑥プロティを意識した練習（2/2） 多読の継続：ビブリオバトルの一回目
9	多聴の練習⑦シンクロ・リーディングの発表 多読の継続：ビブリオバトルの二回目
10	多聴の練習⑧シンクロ・リーディングの相互評価 多読の継続：ビブリオバトルの三回目
11	多聴の練習⑨シャドーイング：リカバリー 多読の継続：ビブリオバトル決勝
12	多聴の練習⑩シャドーイング：リカバリー、TOEIC教材を使用して 多聴の練習⑪プロソディー・シャドーイング
13	多聴の練習⑫TOEIC教材のプロソディー・シャドーイング／まとめ 多読の継続
14	多聴の練習⑬TOEIC教材のプロソディー・シャドーイング／まとめ 多読の継続
15	試験
成績評価法	試験結果・出席率・受講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	国際関係論	担当教員	
学年・学期	2年・前期	時間数	30 単位数 1

授業概要

国際関係の基礎知識とグローバル時代における国際課題や諸問題について学ぶ

授業目標

- ・国際関係の基礎知識を習得する
- ・グローバルな視点や国際問題を学ぶことで、身近な課題に対しても多角的な捉え方ができるようになる

授業計画

1	はじめに：なぜ国際関係を学ぶのか
2	グローバル化と国際社会
3	国際社会を構成する主体とその変容
4	国家はなぜ紛争・協調をするのか
5	国際機構の役割とは
6	グローバル市民社会と多様化する国際関係
7	紛争・テロと人間の安全保障
8	世界の教育課題
9	ディスカッション
10	国境を越えた人の移動と経済問題
11	地球環境問題
12	具体的な事例Ⅰ
13	具体的な事例Ⅱ
14	ディスカッション
15	試験
成績評価法	試験
使用テキスト	
備 考	

科目名	保険請求事務総論	担当教員	
学年・学期	2年・前期	時間数	30 単位数 1

授業概要

医療保険制度の概要と保険請求の仕組みについて理解する。

授業目標

医療制度の仕組みを理解し説明できる。

授業計画

1	病院医療の概要
2	医学・医療の目的
3	医療事務の仕事
4	医療事務とは
5	社会保障と社会保険
6	医療保険制度
7	公費負担医療制度
8	医療保険および公費負担医療制度と他の補償制度との関係
9	医療事務に関する法規
10	保険請求業務
11	窓口業務
12	統計業務
13	わが国の先進医療制度
14	現代医療の課題
15	試験
成績評価法	最終試験の結果・出席状況・小テストの結果を合わせて評価
使用テキスト	改訂 医療事務総論 (建帛社) 医療概論 (建帛社)
備 考	

科目名	保険請求事務演習	担当教員			
学年・学期	2年・後期	時間数	30	単位数	1

授業概要

医師の作成したカルテをもとに記載された診療行為を理解し、支払い金額を算定するために様々な知識を身につける。

授業目標

医療保険制度の概要と保険請求事務の仕組みについて理解する。
具体的な診療行為の算定方法を学習し、診療報酬明細書の作成をする。
診療報酬請求事務能力試験に合格するための基礎を習得する。

授業計画

1	医療保険制度 1
2	医療保険制度 2
3	医療保険制度 3
4	医療保険制度 4
5	医療関係法規 1
6	医療関係法規 2
7	医療関係法規 3
8	医療関係法規 4
9	公費負担医療制度 1
10	公費負担医療制度 2
11	公費負担医療制度 3
12	公費負担医療制度 4
13	保険医療機関等・療養担当規則等 1
14	保険医療機関等・療養担当規則等 2
15	試験
成績評価法	最終試験の結果・出席状況・小テストの結果を合わせて評価
使用テキスト	診療点数早見表 2018年4月版（医学通信社） 医療事務診療報酬請求能力認定試験（医科）合格テキスト（日本能力協会マネジメントセンター）
備 考	

科目名	調剤保険請求事務演習	担当教員	伊藤 佳澄 先生		
学年・学期	2年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

調剤薬局での医療事務業務について

授業目標

保険調剤薬局での窓口業務の流れ、調剤報酬点数表の構成・算定方法を習得する。
処方箋から、調剤報酬を算定し、調剤録の作成、調剤報酬明細書（レセプト）の作成をする。

授業計画

1	保険制度の仕組み・保険の種類
2	公費・処方箋受付から会計まで
3	処方箋受付から会計まで（演習）
4	指導料（調剤基本料・薬歴管理料等）
5	投薬・投薬時加算（内服外用等・計量混合加算等）
6	計算記録・情報記録（調剤録・薬歴等）
7	レセプト（記載事項説明）
8	レセプト演習
9	レセプト演習
10	レセプト演習
11	レセプト演習
12	患者への情報提供（薬剤情報・領収書等）
13	患者への情報提供（演習）
14	全般補足・演習
15	試験
成績評価法	本試験
使用テキスト	調剤報酬請求事務（一ツ橋書店）
備考	

科目名	医事コンピュータ	担当教員		
学年・学期	2年・前期	時間数	15	単位数 1

授業概要

医療事務で重要とされるコンピュータの基礎知識や技能を基に
医療機関の情報の流れを読み取る

授業目標

医療事務コンピュータの基本を熟知し、実務に就いた時あわてることなく、即戦力として適応する力を身につける

授業計画

1	コンピュータと情報表現
2	コンピュータの種類・情報表現
3	コンピュータの仕組みと動作
4	インターネットと情報活用
5	ネットワークの基本とインターネット
6	情報活用の基本
7	ファイルの種類と保存形式
8	試験
成績評価法	最終試験の結果・出席状況・小テストの結果を合わせて評価
使用テキスト	改訂 医事コンピュータ関連知識 (建帛社)
備 考	

科目名	電子カルテ	担当教員			
学年・学期	2年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

電子化された診療録を用いて、医療機関の各種システムと連携について理解する

授業目標

医療機関におけるコンピュータを利用した診療情報処理を理解する
医療機関における診療情報の流れに触れ、レセコン・電子カルテ等のシステム
がどのように繋がっているか理解する

授業計画

1	電子カルテシステムの基礎 1
2	電子カルテシステムの基礎 2
3	電子カルテシステムの基礎 3
4	電子カルテシステムの基礎 4
5	レセプトコンピュータとの繋がり 1
6	レセプトコンピュータとの繋がり 2
7	レセプトコンピュータとの繋がり 3
8	レセプトコンピュータとの繋がり 4
9	操作上の注意点 1
10	操作上の注意点 2
11	操作上の注意点 3
12	医療・介護における多職種連携 1
13	医療・介護における多職種連携 2
14	医療・介護における多職種連携 3
15	試験
成績評価法	最終試験の結果・出席状況・小テストの結果を合わせて評価
使用テキスト	WOT13.0 マニュアル 日医標準レセプトソフト基本操作説明書（日医総研）
備 考	

科目名	保健医療論	担当教員			
学年・学期	2年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

健康を基本にして、現今の医療界の動態を探究する。

授業目標

健康の重要性と国際的な医の三要素を理解し、今後の医療がどのように推進するかを勉学する。

授業計画

1	医学・医療・医道
2	医学・医療・医道
3	健康と命
4	健康と命
5	医療機関と厚労省
6	医療機関と厚労省
7	P・C、living will、ADL (IADL)
8	P・C、living will、ADL (IADL)
9	安全管理(医療事故の防止と対策)
10	安全管理(医療事故の防止と対策)
11	先端医療開発(デルファイ法など)
12	先端医療開発(デルファイ法など)
13	情報化社会と医療
14	情報化社会と医療
15	試験
成績評価法	紙面と授業態度
使用テキスト	一般財団法人 日本医療教育財団「医療通訳育成カリキュラム基準」 (平成29年9月版) 準拠テキスト 医療通訳・その他講師が必要とするもの
備 考	

科目名	秘書概論	担当教員	
学年・学期	2年・後期	時間数	30 単位数 1

授業概要

秘書業務を通じて、職業人に求められる資質や役割について学ぶ。
また、学んだ知識を実践できるよう、ロールプレイングなども取り入れる。

授業目標

社会人に必要な基礎的なスキルを身に付け、職場における良好な人間関係を構築できる人材になることを目指す。

授業計画

1	ガイダンス 学生と社会人の違い
2	就業中のマナーと職場でのコミュニケーション
3	敬語の基本、間違いやすい敬語
4	社内・社外の人とのコミュニケーション① 聴き方、話し方
5	社内・社外の人とのコミュニケーション② 報告、伝え方
6	確認テスト、P D C Aサイクルにみる、仕事の取り組み方
7	来客応対① 接遇、名刺交換
8	来客応対② ロールプレイング
9	電話応対① 受け方、かけ方
10	電話応対② ロールプレイング
11	訪問のマナー① 訪問の注意点
12	訪問のマナー② ロールプレイング
13	ビジネス文書の基本
14	まとめ 「おもてなし」について考える
15	試験
成績評価法	授業への参加態度30%、確認テスト30%、試験40%を目安に総合的に評価
使用テキスト	必要に応じてレジュメを配布する
備考	受講者の理解度により、講義の順番や重点を変えることがある。

科目名	医療総論	担当教員	
学年・学期	2年・前期	時間数	30 単位数 1

授業概要

医療の倫理・医療の基本を理解する

授業目標

人体を構成する臓器について、その機能別の分類を知る。患者をその原因別に大別して理解することで、新しく出会った疾患を理解する助けとなるようになる。また、疾患の種類によって、どのような治療法があるのかを理解する。

授業計画

1	健康と疾病
2	疾病の原因
3	疾病による組織・細胞の変化
4	産科領域の基礎知識
5	妊娠から出産の過程、妊婦健診
6	婦人科領域の基礎知識
7	婦人科疾患の原因と症状
8	小児科領域の基礎知識
9	新生児からの成長発達
10	精神科領域の基礎知識
11	精神科の疾患の分類とその症状・治療法
12	検査に関する基礎知識
13	臨床検査・画像検査の主な種類
14	目的と検査方法・検査時の注意事項
15	試験
成績評価法	試験結果・出席率・受講態度
使用テキスト	一般財団法人 日本医療教育財団「医療通訳育成カリキュラム基準」 (平成29年9月版) 準拠テキスト 医療通訳・その他講師が必要とするもの
備 考	

科目名	社会保障論	担当教員	
学年・学期	2年・前期	時間数	30

授業概要

講義とグループ学習により、社会保障の知識を広げる。

授業目標

様々な社会保障を、調べ学習などを通して身近なものにする。

授業計画

1	社会保障の構造、制度の現状と課題
2	社会保障の構造、制度の現状と課題
3	医療保障
4	医療保障
5	介護保障
6	介護保障
7	所得・労働保障
8	所得・労働保障
9	民間保障
10	民間保障
11	少子・高齢化社会
12	少子・高齢化社会
13	これからの社会保障
14	これからの社会保障
15	試験
成績評価法	授業への参加態度とレポート
使用テキスト	講師持ち込み資料有
備 考	

科目名	社会福祉概論	担当教員			
学年・学期	2年・前期	時間数	30	単位数	1

授業概要

講義とグループ学習により、社会福祉についての知識を広げる。

授業目標

学習を通して、社会福祉を身近なものにする。

授業計画

1	社会福祉の基礎、取り巻く状況
2	社会福祉の基礎、取り巻く状況
3	社会福祉の歴史、仕組み
4	社会福祉の歴史、仕組み
5	社会福祉の機関と施設、援助と方法
6	社会福祉の機関と施設、援助と方法
7	子ども福祉
8	子ども福祉
9	高齢者福祉
10	高齢者福祉
11	障害者福祉
12	障害者福祉
13	地域福祉
14	地域福祉
15	試験
成績評価法	授業への参加態度とレポート
使用テキスト	講師持ち込み資料有
備 考	

科目名	ホスピタリティⅡ	担当教員	学科内部教員	
学年・学期	2年・後期	時間数	15	単位数 1

授業概要

日本文化の「おもてなし」の心を理解する。各種のホスピタリティについて学ぶ。

授業目標

日本文化のひとつである「おもてなし」について理解を高め、将来、社会人として様々な場面で対応できる能力を身につける。

授業計画

1	職業とホスピタリティ
2	イベントとホスピタリティ
3	イベントとホスピタリティ
4	学校生活におけるホスピタリティ
5	ビジネスマナーとホスピタリティ
6	ホスピタリティの実践
7	学校生活におけるホスピタリティ
8	学校生活におけるホスピタリティ
成績評価法	出席率・聴講態度
使用テキスト	
備 考	

科目名	通訳実技実習	担当教員		
学年・学期	2年・前期	時間数	60	単位数 2

授業概要

学んだ知識や技能、倫理を現場で実践する。

授業目標

医療通訳者としての業務の流れや対応について理解する。
医療施設の見学を通して受診の流れ、各部門の機能・役割、各専門職者の業務内容について理解する。

授業計画

1	実習前オリエンテーション
2	実習前オリエンテーション
3	実習前オリエンテーション
4	実習前オリエンテーション
5	実習目標・計画
6	実習目標・計画
7	病院見学
8	病院見学
9	病院見学
10	病院見学
11	病院見学
12	模擬通訳演習
13	模擬通訳演習
14	模擬通訳演習
15	模擬通訳演習
16	模擬通訳演習
17	模擬通訳演習

18	模擬通訳演習
19	模擬通訳演習
20	模擬通訳演習
21	模擬通訳演習
22	模擬通訳演習
23	模擬通訳演習
24	模擬通訳演習
25	模擬通訳演習
26	模擬通訳演習
27	模擬通訳演習
28	模擬通訳演習
29	実習レポート作成・提出
30	実習レポート作成・提出
成績評価法	
使用テキスト	一般財団法人 日本医療教育財団「医療通訳育成カリキュラム基準」 (平成29年9月版) 準拠テキスト 医療通訳・その他講師が必要とするもの
備 考	

科目名	臨床医学Ⅰ	担当教員	上杉 洋一		
学年・学期	1年・後期	時間数	60	単位数	2

授業概要

原因別、部位別などで分類されている各疾病について、その分類の意味とその原因、症状、所見、診断根拠、治療法などの概要を解説する。また、疾病の適切なICDコーディングにつながる基礎知識を学ぶ。

授業目標

1. 疾病の特徴、診断法、治療法等の基本的な事項が説明できる。
2. 各種診療記録の専門用語、内容が理解できる。

授業計画

【講義】

1	感染症とは
2	病原微生物の分類
3	感染の予防
4	細菌感染症Ⅰ 結核
5	細菌感染症Ⅰ 結核
6	細菌感染症Ⅱ 腸管感染症
7	細菌感染症Ⅱ 腸管感染症
8	細菌感染症Ⅲ 人獣共通感染症
9	細菌感染症Ⅲ 人獣共通感染症
10	ウィルス感染症Ⅰ
11	ウィルス感染症Ⅰ
12	ウィルス感染症Ⅱ
13	ウィルス感染症Ⅱ
14	原虫感染症
15	寄生虫感染症
16	真菌感染症
17	新生物（悪性腫瘍）とは
18	新生物（悪性腫瘍）とは
19	消化器系腫瘍
20	消化器系腫瘍
21	呼吸器系腫瘍
22	呼吸器系腫瘍
23	泌尿器系腫瘍
24	泌尿器系腫瘍
25	生殖器系腫瘍
26	生殖器系腫瘍
27	血液の腫瘍

28	内分泌系の腫瘍
29	その他の腫瘍
30	総まとめ 試験
成績評価法	筆記試験 100点満点中80点以上を「A評価」、79点～70点を「B評価」69点～60点を「C評価」60点未満を「D評価」とし、60点以上を以って単位を与える。
使用テキスト	
備 考	

科目名	臨床医学Ⅱ	担当教員	上杉 洋一		
学年・学期	1年・後期	時間数	60	単位数	2

授業概要

原因別、部位別などで分類されている各疾病について、その分類の意味とその原因、症状、所見、診断根拠、治療法などの概要を解説する。また、疾病の適切なICDコーディングにつながる基礎知識を学ぶ。

授業目標

1. 疾病の特徴、診断法、治療法等の基本的な事項が説明できる。
2. 各種診療記録の専門用語、内容が理解できる。

授業計画

1	血液疾患Ⅰ 貧血
2	血液疾患Ⅱ 凝固障害
3	血液疾患Ⅱ 紫斑病
4	血液疾患Ⅲ 出血性病態
5	血液疾患Ⅲ 出血性病態
6	免疫機能の概論
7	免疫機能の概論
8	免疫機能の障害
9	免疫機能の障害
10	内分泌系の概論
11	内分泌系の概論
12	内分泌・代謝疾患Ⅰ 糖尿病
13	内分泌・代謝疾患Ⅰ 糖尿病
14	内分泌・代謝疾患Ⅱ 甲状腺障害
15	内分泌・代謝疾患Ⅱ 甲状腺障害
16	内分泌・代謝疾患Ⅲ 栄養失調
17	内分泌・代謝疾患Ⅲ 栄養失調
18	内分泌・代謝疾患Ⅲ 肥満（過栄養）
19	内分泌・代謝疾患Ⅲ 肥満（過栄養）
20	心理的・精神的な発達
21	心理的・精神的な発達
22	精神および行動の障害
23	精神および行動の障害

24	神経系の障害
25	神経系の障害
26	眼その付属器の障害
27	眼その付属器の障害
28	耳その付属器の障害
29	耳その付属器の障害
30	総まとめ 試験
成績評価法	筆記試験
使用テキスト	
備 考	

科目名	臨床医学Ⅲ	担当教員			
学年・学期	2年・前期	時間数	60	単位数	2

授業概要

原因別、部位別などで分類されている各疾病について、その分類の意味とその原因、症状、所見、診断根拠、治療法などの概要を解説する。また、疾病の適切なICDコーディングにつながる基礎知識を学ぶ。

授業目標

1. 疾病の特徴、診断法、治療法等の基本的な事項が説明できる。
2. 各種診療記録の専門用語、内容が理解できる。

授業計画

1	生活習慣病
2	生活習慣病
3	生活習慣病
4	循環器系の疾病
5	循環器系の疾病
6	循環器系の疾病
7	呼吸器系の疾病
8	呼吸器系の疾病
9	呼吸器系の疾病
10	消化器疾患
11	消化器疾患
12	消化器疾患
13	肝疾患
14	肝疾患
15	肝疾患
16	胆疾患
17	胆疾患
18	腎尿路系の疾病

19	腎尿路系の疾病
20	腎尿路系の疾病
21	筋の概要／疾病
22	筋の概要／疾病
23	筋の概要／疾病
24	骨格系の概要／疾病
25	骨格系の概要／疾病
26	骨格系の概要／疾病
27	皮膚の疾病
28	皮膚の疾病
29	皮膚の疾病
30	試験
成績評価法	出席（50%）と筆記試験（50%） 合格基準60%以上
使用テキスト	
備 考	

科目名	臨床医学IV	担当教員		
学年・学期	2年・前期	時間数	60	単位数 2

授業概要

妊娠から小児に至るまでの身体上の変化について解説する。

周産期から小児の健康、疾病の特徴が理解出来るように講義を行う。

授業目標

1. 妊娠から誕生までの課程が説明できる。
2. 周産期から小児の身体的発達や疾病の基本的な事項が説明できる。

授業計画

1	発生I 排卵から受精・着床まで
2	発生I 排卵から受精・着床まで
3	発生I 排卵から受精・着床まで
4	発生II 妊娠・発生III 分娩
5	発生II 妊娠・発生III 分娩
6	発生II 妊娠・発生III 分娩
7	周産期疾患 流産・母体の異常
8	周産期疾患 流産・母体の異常
9	周産期疾患 流産・母体の異常
10	周産期疾患 分娩時の異常
11	周産期疾患 分娩時の異常
12	産じょくに関する異常・合併症
13	産じょくに関する異常・合併症
14	産じょくに関する異常・合併症
15	小児期の保健
16	小児期の保健
17	先天性異常の種類と病態
18	先天性異常の種類と病態
19	先天性異常の種類と病態

20	出生前診断と染色体異常
21	出生前診断と染色体異常
22	出生前診断と染色体異常
23	出生前診断と代謝異常症
24	出生前診断と代謝異常症
25	発達と成長
26	発達と成長
27	小児期の主な疾患
28	小児期の主な疾患
29	総まとめ
30	試験
成績評価法	出席（50%）と筆記試験（50%） 合格基準60%以上
使用テキスト	
備 考	